

金日成主席が積み上げた業績を振り返る

ロシア社会組織「朝鮮戦争（1950－1953）老兵理事会」委員長

朝鮮民主主義人民共和国の創建者である金日成主席の生誕 110 周年にあたる 2022 年 4 月 15 日が近づいています。

この日に際して、わが組織のメンバーと朝鮮戦争（1950－1953）参戦老兵たちは、今日のように独創的で自主的かつ、繁栄する朝鮮の基礎を築いた金日成主席の生涯と革命活動について振り返っています。

金日成主席は、1930 年の歴史的なカ倫会議で朝鮮を占領した日本帝国主義に反対する闘争を展開することを呼びかけ、綿密な準備を整えた上で朝鮮人民革命軍（当時反日人民遊撃隊）を創建しました。

こうして、朝鮮人民は、歴史上初めて卓越した領袖が指導する真の革命軍隊をもつようになり、独立闘争を勝利のうちにくり広げることができました。

朝鮮を占領した日本の正規軍と立ち向かった朝鮮人民の闘争は、非常に困難で力に余るものでした。

金日成主席は、朝鮮革命の指導的指針であるチュチェ思想に依拠して抗日武装闘争を勝利へと導き、朝鮮人民革命軍の各部隊と赤軍との協同作戦を展開して、祖国解放の歴史的偉業をなし遂げました。

わが組織の老兵たちは、朝鮮で祖国解放戦争と呼ばれる朝鮮戦争の時期にあった出来事を通じて、金日成主席について特別によく知っています。

この戦争期間には、アメリカの実際の核兵器使用の企図をはじめ、地域紛争が世界戦争に広がりかねない危険な瞬間が数回もかもし出されました。

膨大な人的および物的資源の動員、熾烈な対決戦、各国の戦争参加、これがこの戦争の特徴でした。

朝鮮戦争は、第 2 次世界大戦以後の「冷戦」時期、最初に行われた大規模の戦争でした。

朝鮮民主主義人民共和国の指導者である金日成主席は、朝鮮人民軍を指揮してアメリカとその追随諸国の軍隊を追い出し、戦争で勝利を収めました。

朝鮮は、北と南に二分されました。

今も南朝鮮とアメリカは、朝鮮民主主義人民共和国に反対する侵略的な軍事演習を続けています。こうした形勢は、国の統一を促進することにたいする障害となっています。

金日成主席は、祖国統一は全朝鮮人民の民族的悲願であり、最大の愛国活動で

あるとし、国土と民族の分裂を終わらせ、国の完全な独立をなし遂げるための朝鮮の統一問題は、徹頭徹尾、朝鮮人民自身が解決すべき朝鮮民族内部の問題であると述べています。

祖国統一 3 大原則の基本内容は自主、平和統一、民族大団結です。

北と南が民族と全世界の前に署名した歴史的合意を相互尊重し、誠実に履行することは、朝鮮半島の平和と繁栄を実現し、祖国統一偉業の最盛期を開くための重要な要求として提起されます。

ロシア社会組織「朝鮮戦争老兵理事会」のメンバーと老兵たちは、金日成主席について、朝鮮人民の前に積み上げた金日成主席の業績と朝鮮民主主義人民共和国とロシアとの親善強化のためにくり広げた金日成主席の活動について、篤実な心で振り返っています。

朝鮮人民に安寧と繁栄があることを祈願します。